

科学する心を育てる保育実践と計画を募集する「ソニー幼児教育支援プログラム」
全国 93 園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催 6月28日(土) みどりの森幼稚園(宮城県仙台市)

公開保育・研究発表会などを通じ県内外の保育関係者に向けて独自の保育実践を公開

特別対談：株式会社日立製作所 役員待遇フェロー 小泉 英明氏
東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田 喜代美氏

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 中鉢良治)は、2013年度「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた学校法人 仙台みどり学園 みどりの森幼稚園(宮城県仙台市、園長:小島 芳)にて、「最優秀園実践発表会」を開催します。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育研究を推進したソニー創業者 井深大の考えを受け継ぎ、2002年から行っている園への教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、3歳から5歳の保育実践・計画を募集し、これまでに全国の幼稚園・保育所・認定こども園から約1000園の応募、500を超える園が受賞しています。

今回、「最優秀園実践発表会」を行うみどりの森幼稚園は、2013年にご応募いただいた93園の中から選出され、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)ら四氏による審査、現地調査を経て「最優秀園」を受賞。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」の芽生えを育む取り組みや成果について、公開保育、研究発表などを通じて先生方を中心とする保育関係者にご紹介いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

みどりの森幼稚園 (宮城県仙台市)

研究主題： 「科学する心を育てる」身近な自然体験から深まる幼児の学びとは

開催日時： 2014年6月28日(土) 9:15~16:50

会場： 【公開保育】9:30~10:45
学校法人 仙台みどり学園 みどりの森幼稚園
宮城県仙台市青葉区柏木1丁目7-45

【研究発表】11:15~12:20

【研究協議】13:20~14:40

【特別対談】14:50~16:45

フォレスト仙台
宮城県仙台市青葉区柏木1丁目2-45

講師： 株式会社日立製作所 役員待遇フェロー 小泉 英明氏
東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田 喜代美氏



※ みどりの森幼稚園からのご案内は「第二次案内」をご覧ください。参加については、直接園にご相談ください。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2014/2014_midorinomori_02.pdf

※ 最優秀園論文全文はホームページでお読みいただけます。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/preschool_2013/pdf/midorinomori.pdf

「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園 論文

学校法人 仙台みどり学園 みどりの森幼稚園（宮城県）

論文テーマ： 日々の自然体験から紡ぎだす科学する心の芽生えとは
-カエルと一緒に暮らしたい! カエルプロジェクト-

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/preschool_2013/pdf/midorinomori.pdf)

【審査講評】

子どもが興味の対象に関わる姿を大切に、自分たちで考えて進めていく遊びや生活を丁寧に見取って保育をしています。そのために、5歳児が課題に向かい仲間と協働的な遊びを展開することに焦点を当て、子どもたちの目的や関心事に添って園全体で保育の工夫を図っています。その成果として、子どもたちが探求を深めて精神的に物事に取り組む意欲が、「科学する心」に結び付いていることが高く評価されました。園庭で見つけたカエルへの関心が高くなり、飼育を始めた子どもがいる時期を逃さずに、保育者はカエルについて子どもと考え合う環境を作りました。カエルをより深く知ろうとする関わりにより、一人ひとりの探求はカエルの生態へと深まっています。更に、カエルの餌や棲み処などに探求が広がった「池作り」は、創造力が育まれる協働的な体験に繋がりました。また、子どもたちは飼育物との様々な出来事により、生き物と真剣に向き合う体験をしています。そして、探求する中で興味を引いた絵本の内容から池作りを発想し、園庭のどこに作る事が良いのか考え合い、実際にみんなでやり遂げる過程には、「科学する心」が育まれる多くの学びがあります。

■ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある実践と計画をまとめた論文を募集、その実現のための支援を行っています。3歳から5歳の具体的な子どもの姿に基づく実践報告と考察・計画をまとめ、全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年約100園のみなさまにご応募いただいています。審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査・中間審査を経て、上位入選候補園に関しては現地調査も行います。上位入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び出し、実践事例集として毎年冊子を発行。事例はホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

■ソニー教育財団について

ソニー創業者の井深大は、その設立趣意書の中で「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げています。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心をもち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立。2000年には子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。これまでに延べ11,000校を超える応募があり、教育資金を贈呈するなど、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の小・中学校や先生方を支援してきました。

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立し、その研究と実践を推進しました。2001年には2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」を設立。2011年より「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行し、今日に至ります。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>